

一般選抜・前期《英語》

【1】

【出題意図】

科学的研究を扱った英文を読み、指示語が指す内容の把握、本文からの情報抽出と整理、対比関係や因果関係を整理して簡潔にまとめる力など、多角的な読解力を評価する。加えて、本文内容を逐語訳に頼らず、英文の要点を正確に捉えた上で、求められる条件に沿って内容を適切に言い換え・要約し、再構成する力を測る。科学的文章を読み解くために必要な総合的な言語運用能力と論理的思考力を評価する。

【解答例】

解答例

[1] (a) 動物が食べ物の種類（食性）を広げるのは、夏のように食料が十分ある時期に前もって行うのか、それとも冬など食料不足で競争が厳しい時にだけ行うのか、という二説が矛盾して同時には成り立たないこと。

(b) イエローストーンの草食動物が、一年を通して生き残るのに十分な食料資源をどのように確保できるのか、という疑問。

解答

[2]

あ. GPS

い. bison, elk, deer, bighorn sheep, (and) pronghorn antelope
(あるいは five of Yellowstone's most well-known species)

う. metabarcoding

え. fecal samples (あるいは dietary DNA data)

i. b

ii. d

解答例

[3] 以下の点を指定語数内で説明していること。

比較対象について

・小型の動物

－ 夏に草原を広く移動して食料の選択肢を拡大している

－ 冬は厳しい環境を避けることができる場所に集まり、限られた食料で生き延びている

・大型動物は、冬に雪の中を移動して、小型動物には確保できないようなものを食べている

バイソンのような大型動物は、小型動物（シカやヒツジ）とは逆の行動をとった。冬には、体が大きいいため減少する食料資源をめぐる競争する必要がなく、深い雪の中に出て行き、小型のシカやヒツジが届かないような独特の植物を見つけて食べた。(113字)

[4] 以下の点を指定語数内で説明していること。

・二つの説は矛盾することなく両方とも成立していたこと

・上記には、以下の2点に関して動物の種類が関係していたこと

－ 動物の体の大きさ

－ 食料の選択肢を拡大する季節（タイミング）

・植物が豊富な夏も限定される冬も動物は食物の選択肢を拡大していたが、その方法と季節は動物の体の大きさ（種類）によって異なっていたこと。(66字)

・草食動物の体の大きさによって、食料の確保の仕方（季節）に違いがあり、それぞれ、仮説通りのことが起こっていたこと。(56字)

[5] この研究結果が、環境保護に携わる人々の活動に役立ち、これらの草食動物が一年を通して生き延びるための食料資源の保全がより適切に達成できること。

【2】

【出題意図】

英文を読み、文脈に応じた適切な語彙・文法・語法の知識、指示語や代名詞の参照関係の把握、段落ごとの要点理解など、英文読解に必要な基礎力を測る。さらに英問英答形式で、本文から根拠を特定し必要情報を正確に抽出・判断する力を問うことで、英語で理解・処理する総合的な言語運用能力を評価する。

【解答例】

解答

1. (d) 2. (c) 3. (d) 4. (c) 5. (b)

【3】

【出題意図】

実用的な英文を素材として、英文の流れを把握し、文脈に応じた適切な表現を選択する基礎的運用力を測る。各空欄において、前後の文脈や段落全体の論理展開を正確に理解した上で、文法的・意味的に最も適切な選択肢を判断する能力を評価する。語彙力、文法知識、論理的思考力を統合して用いる力を測る。加えて、英問英答形式により、日本語に介さず直接理解・判断する力を評価する。

【解答例】

解答

I. 1. (d) 2. (c) 3. (a) 4. (b) 5. (c)

II. 1. (f) 2. (d) 3. (b) 4. (i) 5. (h) A. (d)